

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

医学部では、人間味にあふれ、深い医学知識と技術を備えた医師を養成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、卒業を認定し、学士（医学）の学位を授与します。本学医学部学生が卒業時点において身につけているべき能力を4領域に分けて示す。

- 1 科学者としての医師
 - (a) ヒトの正常な構造、機能、行動および疾病の病因・病態を理解、研究し、医学の発展に貢献することができる。
 - (b) 臨床データや文献等の情報を吟味し、その妥当性や適用の有無を決定することができる。
 - (c) 重要な医学的知見や医療情報を、さまざまな立場の人に対し適切に説明、発表することができる。
 - (d) 科学的知識や科学的理解の限界を認識し、全ての科学的知見は常に更新される性質のものであることを理解できる。
- 2 臨床家としての医師
 - (a) 患者・医師関係の意義を理解し、良好な関係を築くことができる。
 - (b) 医療面接や系統的な身体診察によって臨床所見や兆候を捉え、それらを解釈し、適切な検査や治療法を選択できる。
 - (c) 基本的な臨床手技を行うことができる。
 - (d) 医療情報の記録、管理を適切に行うことができる。
 - (e) 医療における安全性を理解し、適切な危機管理ができる。
- 3 社会における医師
 - (a) 様々な生活環境や国および世界の健康、疾病の動向を評価し、対処できる。
 - (b) 個人および集団の健康を規定する因子を考察し、健康増進、疾病予防の方策を立案できる。
 - (c) 保健、医療、福祉に関する法や制度を社会的動向の中で理解し、活用することができる。
 - (d) 多職種連携による地域包括ケアシステムの構築に貢献できる。
- 4 プロフェSSIONALとしての医師
 - (a) プロフェSSIONALとして人間愛と倫理性に溢れ、かつ冷静な行動をとることができる。
 - (b) 多職種と協調して行動し、必要な時にリーダーシップを発揮することができる。
 - (c) 自分の身体的、精神的状況を把握し、ストレスに適切に対応して、必要な時には率直に支援を求めることができる。
 - (d) 継続的に自身の医学知識、医療技術の向上に務めることができる。

分類	科目名	I 科学者としての医師				II 臨床家としての医師				III 社会における医師				IV プロフェSSIONALとしての医師						
		a	b	c	d	a	b	c	d	a	b	c	d	a	b	c	d			
		疾病ヒトの正常な構造、機能、行動および疾病の病因・病態を理解、研究し、医学の発展に貢献することができる。	臨床データや文献等の情報を吟味し、その妥当性や適用の有無を決定することができる。	重要な医学的知見や医療情報を、さまざまな立場の人に対し適切に説明、発表することができる。	科学的知識や科学的理解の限界を認識し、全ての科学的知見は常に更新される性質のものであることを理解できる。	患者・医師関係の意義を理解し、良好な関係を築くことができる。	医療面接や系統的な身体診察によって臨床所見や兆候を捉え、それらを解釈し、適切な検査や治療法を選択できる。	基本的な臨床手技を行うことができる。	医療情報の記録、管理を適切に行うことができる。	医療における安全性を理解し、適切な危機管理ができる。	様々な生活環境や国および世界の健康、疾病の動向を評価し、対処できる。	個人および集団の健康を規定する因子を考察し、健康増進、疾病予防の方策を立案できる。	保健、医療、福祉に関する法や制度を社会的動向の中で理解し、活用することができる。	多職種連携による地域包括ケアシステムの構築に貢献できる。	様々な生活環境や国および世界の健康、疾病の動向を評価し、対処できる。	個人および集団の健康を規定する因子を考察し、健康増進、疾病予防の方策を立案できる。	保健、医療、福祉に関する法や制度を社会的動向の中で理解し、活用することができる。	多職種と協調して行動し、必要な時にリーダーシップを発揮することができる。	自分の身体的、精神的状況を把握し、ストレスに適切に対応して、必要な時には率直に支援を求めることができる。	継続的に自身の医学知識、医療技術の向上に務めることができる。
		関連する項目には○を、より強く関連する項目は◎を付している。																		
大学 特色 科目	大学生になる																			
	大人になる																			
	社会人になるA																			
	社会人になるB																			
	NCU先端科目：医療系	○		○	○															
	NCU先端科目：自然・情報系	○	○	○	○															
	NCU先端科目：社会科学系											○	○	○	○					
	NCU先端科目：人文系																			
	地域社会で活躍する女性						○	○	○	○	○									
	共生社会におけるふれあいネットワーク											○	○	○	○					
	現代社会と人と地域のつながり																			
	名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題																			
	ESDと地域の環境																			
	多文化共生と国際貢献																			
	ワークライフバランスとダイバーシティ							○	○	○	○									
まちづくり論																				
次世代エネルギーワークショップ																				
起業家になる																				
科学館・博物館・美術館から知る名古屋																				
中国短期語学研修																				
フランス短期語学研修																				
現代 社会 の 諸 相	日本国憲法																			
	なぜ憲法が必要なのか																			
	法学入門																			
	知的財産権入門																			
	人と法と医療																			
	経済学：経済と社会																			
	経済学：経済のしくみ																			
	経済学：経済学の考え方																			
	経営学：企業と社会、個人の関係																			
	経営学：企業活動の諸相																			
	経営学：組織を取り巻く諸環境について																			
	社会学A																			
	社会学B																			
	社会学C																			
	社会学概論																			
一般 教 養 科 目	新聞報道の現場から																			
	環境行動学と情報リテラシー																			
	平和論																			
	私たちの暮らしと政治・行政・地方自治																			
	国際政治と社会																			
	フィールド研究からみるアジア																			
	キー・コンピテンシー																			
	シテズンシップ入門																			
	琉球・沖縄の歴史・文化を識る																			
	日本文化の理解																			
	人類学																			
	日本語コミュニケーション																			
	囲碁に学ぶ																			
	死の文化学																			
	文化 と 人 間 性 の 探 求	東ヨーロッパの文化と歴史																		
文化に見る歴史																				
欧州史の中の北欧史																				
アメリカ史入門																				
都市と地域構造の地理学																				
音楽と文化																				
デザインと情報																				
人間と表現																				
自分とみんなで考える哲学																				
討論の中で問題を発見する哲学																				
応用倫理学－生命倫理の現在																				
心理学概論		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
心理学入門																				
現代教育の諸相																				
次世代育成と地域の課題																				
宗教学入門																				

分類	科目名	I 科学者としての医師				II 臨床家としての医師					III 社会における医師				IV プロフェッショナルとしての医師				
		a 献病 因・病 態を理 解し、 研究し 、医学 の発展 に貢献 すること ができる	b 臨床 データ や文献 等の情 報を吟 味し、 その妥 当性や 適用の 有無を 決定す ること ができる	c 立 場や人 間的に 適切な 見解を 発表す ること が できる	d 科 学的知 識や理 解の界 限を認 識し、 全 体的に 見直し 、更新 される 性質の ものを 理解す ること が できる	a 患 者・医 師関係 の意義 を理解 し、良 好な関 係を築 くこと が できる	b 医 療面接 や系 統的な 身体診 察によ って臨 床所 見や治 療法を 選択す ること が できる	c 基 本的な 臨床手 技を行 うこと が できる	d 医 療情報 の記録 、管理 を適切 に行う こと が できる	e 医 療にお ける安 全性を 理解し 、適切 な危機 管理が できる	a 様 々な生 活環境 や国お よび世 界の健 康、疾 病の動 向を評 価し、 対処す ること が できる	b 個 人およ び集団 の健康 増進、 疾病予 防の方 策を立 案でき る	c 保 健、医 療、福 祉に關 する法 や制度 を社会 的動向 の中で 理解し 、活用 すること が できる	d 多 職種連 携によ る地域 包括ケ アスキ ャム の構築 に貢献 できる	a 溢 れ、か つ冷静 な行動 をとる こと が できる	b 多 職種と 協働し 、必要 な時に リー ダー シップ を発揮 すること が できる	c 自 分の身 体的、 精神的 状況を 把握し 、スト レスに 適切に 対応す ること が できる	d 継 続的に 自身の 医学知 識、医 療技術 の向上 に務め ること が できる	
		関連する項目には○を、より強く関連する項目は◎を付している。																	
3 学 年 専 門 教 育	病態病理/臨床病理	◎			○				○	○				○	○			○	
	薬理学	◎		○										○				○	
	法医学	○		○														○	
	神経科学	◎			○									◎	◎			○	
	疼痛科学	◎			○					○	○							○	
	医学・医療倫理				○					○	○						◎		
	コミュニティ・ヘルスケア応用 (IPE)				○					○					◎	○		○	
	Scientific Writing & Presentation		◎	◎	○														
	先端研究				◎													○	
	救命救急	○		○						◎		○				○	◎	○	
	水平統合病態	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	医動物学	◎	○	○	○	○												○	
	細菌学	◎	○	○	○	○												○	
	ウイルス学	◎	○	○	○	○												○	
	免疫学	◎	○	○	○	○	○										○	○	
	基礎自主研修	◎	◎	◎	◎													○	
	4 学 年 専 門 教 育	血液・造血器・リンパ系	◎	○	○	○	○								○			○	
		神経系 (神経内科)	◎			○					◎	○	○						○
神経系 (脳神経外科)		◎	○	○	○	○				◎	○	○						○	
皮膚系		◎			○					◎	○							○	
運動器系/リハビリテーション		◎			○					◎	○						○	○	
循環器系		◎			○					◎	○							○	
呼吸器系		◎			○					◎	○							○	
消化器系・内視鏡		◎			○					◎	○	○	○					○	
腎・尿路系 (腎臓内科)		◎	○	○	○	○				◎	○	○						○	
腎・尿路系 (泌尿器科)		◎	○	○	○	○				◎	○	○						○	
生殖機能 (泌尿器科)		◎	○	○	○	○				◎	○	○						○	
生殖機能 (婦人科)		◎	○	○	○	○				◎	○	○						○	
妊娠と分娩		◎	○	○	○	○				◎	○	○						○	
乳房		◎	○	○	○	○				◎	○	○						○	
内分泌・栄養・代謝系		◎	○	○	○	○				◎	○	○						○	
眼・視覚系		◎			○					◎	○							○	
耳鼻・咽喉・口腔系		◎			○					◎	○							○	
精神系		◎	○	○	○	○				◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
臨床感染症学		◎			○					◎	○							○	
成長と発達/発生		◎	○		○					◎	○							○	
急性期医療、慢性疼痛と行動科学		◎			○	○				◎	○							○	
食事と栄養療法		◎			○					◎	○							○	
放射線を用いる診断と治療		◎			○					◎	○							○	
輸血と移植					○					◎	○							○	
膠原病					○					◎	○							○	
漢方医学セミナー			○		○					◎	○							○	
臨床処方学セミナー					○					◎	○							○	
臨床腫瘍学				○					◎	○							○		
救急科				○					◎	○							○		
臨床診断推論				○					◎	○							○		
予防医学基礎		○		○					◎	○							○		
コミュニティ・ヘルスケア発展 (IPE)				○					◎	○							○		
基本臨床技能実習/OSCE				◎	◎	◎	◎										○		
5・6 学 年 専 門 教 育	臨床実習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	コミュニティ・ヘルスケア実践 (IPE)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	予防医学応用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	
	法医学診断学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
選択性臨床実習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		